

第9回クリーンセンター環境運営委員会議事録要旨

1 日 時

平成25年11月20日（水） 午前10時から午前11時25分まで

2 場 所

秦野市伊勢原市環境衛生組合会議室
（はだのクリーンセンター3階小会議室）

3 出席者

- (1) 委員（8名・欠席2名）
- (2) オブザーバー（1名・欠席1名）
- (3) 事務局（4名）
- (4) その他（1名）

4 内 容

(1) 議題

ア クリーンセンター環境運営委員会設置要綱の一部改正について

- ・ 秦野市の公害対策を所管している環境保全課の課長を委員として加えたことによる組織体制の変更や「はだのクリーンセンター環境運営委員会」への名称変更などに伴う要綱の改正について、委員等から特に指摘等はなく了承された。

イ クリーンセンター環境運営委員会による視察報告

- ・ 平成25年10月22日（火）に実施した委員会による静岡県の磐田市クリーンセンターへの視察について報告した。

ウ はだのクリーンセンター各種測定結果等について

(ア) はだのクリーンセンター各種測定結果について

- ・ 煙突出口からの排ガス測定項目について、3月の塩化水素超過の件を除き、自主規制値を超えたことはなかったのかとの質問に対し、なかったと回答した。
- ・ 騒音の測定結果については、昨年度より低い結果となっているが、

測定方法などの条件が変わったのかとの質問に対し、昨年度は測定前日の降雨により増水した川の音を拾ったことによるものであった。その他、虫の鳴き声や幹線道路の交通音により測定値が高くなることも考えられると回答した。

(イ) はだのクリーンセンター周辺臭気測定調査結果

- ・ 悪臭防止法は工場や事業所を対象としているため、今回のスリーエフ秦野曾屋店駐車場横及び県道71号線クリーンセンター入口交差点手前の測定場所は法令上の規制対象にはならないが、はだのクリーンセンターへ搬入するすべての車両が通行するため、少しでも臭いを減らす工夫をしていただきたいとの要望に対し、直営収集車は定期的に洗車を行うとともに、汚れの具合により必要に応じ洗車を行い、車両の衛生保持に努め、業者にも指導する旨、秦野市から回答があった。また、伊勢原市では保有車両の水洗いを毎日行っており、業者に対しても徹底して清潔保持に努めるよう指導すると回答があった。

エ はだのクリーンセンターの稼働実績について

- ・ 搬入車両の1日当たりの台数は121台とのことだが、曜日による台数の変化はどのくらいなのかとの質問に対し、多いときは約150台、少ないときは約40台、伊勢原清掃工場が修繕などにより稼働を停止しているときは、最大で約190台になると回答した。

(2) その他

ア 堰堤の浸出水の測定について

- ・ はだのクリーンセンター堰堤の浸出水については、予定どおり11月にサンプリングを行ったので、結果が出たら委員会で報告すると説明した。

イ 消石灰吹き込みノズルの交換作業について

- ・ 消石灰の吹き込みノズル（6.5キログラム）の交換作業の効率を上げるため、ボルト（M16）の本数を8本から4本への変更を行い、10月に作業するうえでの安全対策が完了し、現場確認が可能であることを説明した。

- ・ 消石灰の吹き込みノズルの交換周期は、週1回とのことだったが、その後どうなっているのか、また、その周期を長くすることは考えているのかとの質問に対し、1号炉、2号炉とも現在は週1回ノズルの交換作業を行っているが、1週間ごとに詰まり具合の確認を行う作業を1か月間行い問題のないことを確認した。今後は、週1回から月1回の交換に期間を延ばしていき、交換時期でなくても常時監視している圧力計が3キロパスカル以上の数値となった場合は速やかに交換作業を行うと回答した。

この回答に対し、段階的に期間を延ばしていくほうが良いのではないかと意見があり、そのようにすると回答した。

ウ 本委員会に御門自治会以外の自治会を加えることについて

- ・ 今月の18日に本町地区自治会連合会会長が来訪され、「委員会のメンバーに御門自治会以外の周辺自治会を加えることについて御門自治会長から依頼があったので、このことについて検討できないか。」との申し出があったことを説明した。

委員会では、過去に2回議論し、委員会が必要と判断した場合は、他の自治会を加えることができるとの結論がでている。

- ・ 委員会で協議の結果、今の状況では認められないが、他の自治会に対し、事務局が委員会の趣旨や活動内容を説明したうえで、参加の要望があれば文書等により提出してもらい、委員会で判断することとなった。

エ 次回の委員会について

- ・ 次回の第10回委員会については、御門自治会から推薦されている委員が平成25年12月15日に2年の任期満了となるため、事務局で調整し、来年の1月か2月ごろを予定したいと説明した。